

高畠高生の活躍

9月7日(木)に3年次「社会一般」の授業で行われた『生徒・学生と県議会議員との意見交換会』の様子が、新聞に掲載されました。

記事には、若者の県内定着について、本校3年次生の菅野ゆなさんのコメントが紹介されています。

若者の県内定着へ提案

県議に高畠高生、SNS広告など



若者の県内定着などについて意見を交わした高校生と県議
＝高畠町・高畠高

高畠高(吉田晴美校長)の生徒と県議の意見交換

会が7日、高畠町の同校で開かれ、若者の県内定着などについて意見を交わした。

同校の選択科目で社会一般を選択している3年生16人と県議5人が参加した。若者の県内定着について、菅野ゆなさん(16)は「県内で暮らしていても山形の魅力が分ならず、若者は定着しにくい」と指摘。「交流サイト(SNS)でも、不特定多数の人が目にする広告を活用すべきではないか。SNSの発信者であるインフルエンサーに依頼するのも効果が出る」などと提案した。

人口増加や教育、観光促進の方策についても意見を交わし、「アクセスや利便性を考慮した交通網を整備すべきだ」「生徒の自主性を重んじた校則に変えていくべきだ」といった意見が出た。
(黒沢光高)

令和5年9月8日(金)「山形新聞」から